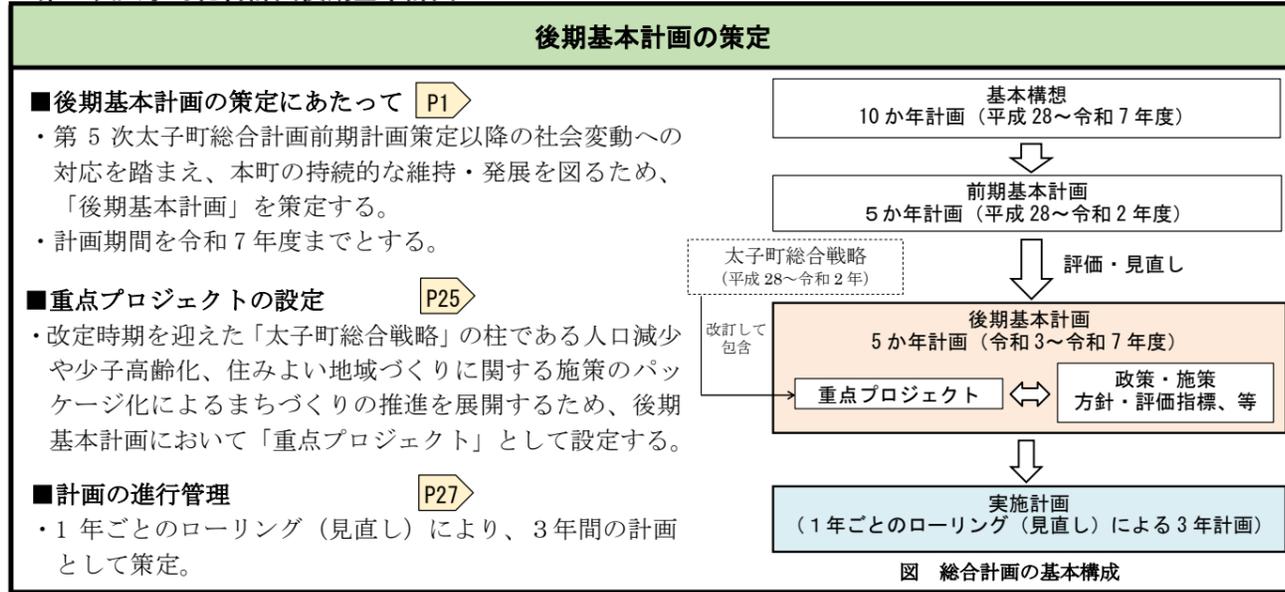


第5次太子町総合計画後期基本計画について



太子町の概況

■太子町を取り巻く社会潮流 P20

- 1 少子高齢化・人口減少への対応**
 - 地方部における人口減少の顕著化
 - 高齢者の健康維持、介護予防
 - 「関係人口」による地域づくりを支える担い手の創出
- 2 安心・安全への対応**
 - 防災、減災等の取組み強化。
 - 公共施設等の適正な維持管理、更新
 - 新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえた「新しい生活様式」の検討
- 3 環境問題への対応**
 - 持続可能な開発目標（SDGs）によるエネルギー問題の解決方法の検討
- 4 地方分権と協働による独自の地域づくり**
 - 地域経済の循環の実現、人口減少に対応した地域の創出

■住民の意識調査 P12

- 1,000票配布、385票回収（回収率38.5%）

- 1 まちの感じ方**
 - 「人と自然が調和・共生したまち」が最も高い
- 2 住みやすさ**
 - 「住みよい層」(*)が62.6%で「住みにくい」層(*)が14.3%でともに前回と大差なし
- 3 町外へ移りたい理由**
 - 「交通の便が悪い」、「日常の買い物が不便」、「医療分野が不十分」といった回答が比較的高い
- 4 施策に対する満足度**
 - 全体の満足度は前回と比較して2.5から2.9に評価が向上
 - 満足度が向上した項目は、「障がい者が安心して暮らせる環境整備」、「バスなどの公共交通機関の便利さ」「農業振興の取組み」等
 - 満足度が低下したのは「山林など自然環境の豊かさを守る取組み」

(*)「住みよい（にくい）層」は「とても住みよい（にくい）」、「どちらかといえば住みよい（にくい）」の合計

太子町の主要課題

（前期基本計画策定後の主な課題）

（1）定住魅力を高めるための住環境整備 P21

- ①定住魅力の向上**
 - 定住化への対応
 - ・人口減少・少子高齢化が継続。
 - 身近にふれあえる自然資源の保全と活用
 - ・「山林や自然に対する取組み」の満足度低下。自然資源の次世代継承へ向けての取組みが必要。
- ②安心・安全のまちづくり**
 - 地域における防災力の強化
 - ・大規模災害に対応した危機管理体制の強化。
- ③教育・地域福祉の充実**
 - 学校教育や生涯学習の充実
 - ・生涯学習参加者等の低下。地域交流拠点施設の建設、生涯学習機能強化。
 - 子育て支援の充実
 - ・多様な施策を組み合わせることで、子育てのニーズへの対応が必要。
 - 高齢者の生きがいがづくりの充実
 - ・「医療施設不足」の意見も多く、健康の維持・安心して老後を過ごせる取組みが必要。
- ④新型コロナウイルス等感染症への対応**
 - 予防体制の強化等。

（2）まちの魅力度アップ P23

- ①元気なまちづくり**
 - きめ細かな地域交通の充実
 - ・地域公共交通を再編、「公共交通機関の便利さ」の満足度は向上。更なる公共交通の利便性向上が必要。
- ②観光・商工業振興**
 - 地域資源を活かした観光戦略・集客戦略
 - ・交流人口の維持・向上のための資源掘り起し・PR。
 - 商工業の振興
 - ・商工業の振興による町内の経済循環の活性化。
 - ・大規模商業施設開業により住民の満足度が上昇。

後期基本計画

【重点プロジェクト】 P30

- ① 安心して子どもを産み育て、健康に暮らせる体制をつくる**
 - ・結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援により、安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進するとともに、住民が健康に暮らせる体制の充実を図ります。
- ②安心・安全な地域をつくる**
 - ・地域住民が安心・安全に暮らすための基盤となる施設や環境の整備を行います。
- ③働く場や交流機能の充実による地域活力の向上**
 - ・人口減少への対応として、安定した経済活動が行われることが必要であり、産業の振興や交流機能の向上により、地域の活力向上を図ります。
- ④地域に愛着と誇りを持ち、地域を支える人材の育成**
 - ・地域への愛着を持つことで、成長しても本町に関わり、あるいは支える人材の育成を行います。

【後期基本計画（分野別施策）】 P38

1. こころ健やかで、元気に暮らせるまちづくり
2. 支え合い、安心して暮らせるまちづくり
3. 活力と魅力にあふれる、個性豊かなまちづくり
4. 豊かな自然・歴史とともに育つ、誇りあるまちづくり
5. みんなで歩む協働のまちづくり

■後期基本計画（分野別施策）のとりまとめについて

- ①現状と課題の整理及び方針については事業の進捗状況や住民ニーズ等を踏まえて見直す。
- ②それぞれの「政策」に対する評価指標と目標値については令和7年度を目標年に再設定する。

前期基本計画の事業評価

・前期基本計画の評価方法については、「数値による達成度評価」（担当課による）及び「アンケートによる満足度評価」（住民の意識調査による）をそれぞれ5段階で評価

・「数値による達成度評価」評価結果の平均値は3.5、「アンケートによる満足度評価」評価結果の平均値は3.2

・「数値による達成度評価」では「基本目標5. みんなで歩む協働のまちづくり」が最も高く、「アンケートによる満足度評価」では「基本目標3. 活力と魅力にあふれる、個性豊かなまちづくり」が最も高くなっている。

・最も評価が低いのは、ともに「基本目標4. 豊かな自然・歴史とともに育つ、誇りあるまちづくり」となっている。

ランク	A:5	B:4	C:3	D:2	E:1
達成率	十分に達成	ほぼ達成	やや達成	やや未達成	達成できていない

基本目標	評価結果	指標数	A	B	C	D	E
【基本目標】 1. こころ健やかで、元気に暮らせるまちづくり【医療、福祉、健康】	3.7	24	10	4	5	3	2
【基本目標】 2. 支え合い、安心して暮らせるまちづくり【安心・安全、都市基盤、環境】	3.2	13	3	5	1	0	4
【基本目標】 3. 活力と魅力にあふれる、個性豊かなまちづくり【産業、雇用、観光】	3.3	12	4	2	2	1	3
【基本目標】 4. 豊かな自然・歴史とともに育つ、誇りあるまちづくり【人権、教育、文化】	3.2	18	4	1	7	6	0
【基本目標】 5. みんなで歩む協働のまちづくり【協働、行政経営、情報化】	4.1	7	4	1	1	1	0
合計	3.5	74	25	13	16	11	9